

# 庄内の風 ⑬

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

## スポーツが結んだ友情 グラウンド・ゴルフ

庄内町と南三陸町ではグラウンド・ゴルフが盛んに行われています。グラウンド・ゴルフは、誰もがどこでもできるニュースポーツとして昭和57年に鳥取県で考案されたスポーツで、日本グラウンド・ゴルフ協会のもと各県に協会があり多くの愛好者を楽しんでいます。

市町村合併前の立川町と歌津町の両協会が中心となって、山形県と宮城県の間でグラウンド・ゴルフ協会を設立し、それぞれから協会長が就任しており、リーダー的な存在として競技の普及に努めてきました。

その経緯から、スポーツ交流事業として協会員同士の交流と技術向上を目的に、平成9年から立川町と歌津町で相互に会場を移して開催



てきました。合併後の現在も庄内町と南三陸町のグラウンド・ゴルフ愛好者同士の交流の場として、継続して実施されています。今年には10月13日(土)～14日(日)に庄内町で開催されます。

みなさん、こんにちは。今年の夏は、地元南三陸町の思い出が、たくさんできましたあ！  
まずは、7月28日(土)、第44回志津川湾夏祭りでの『まきのめぐみ歌謡ショー』です。強い日差しの中での45分のステージ、たくさんのお客さんに最後まで暖かい応援をいただきました。  
私のオリジナル曲のほか、「千恵つこよされ」や、「帰ってこいよ」では、たくさん拍手をいただき、本当に盛り上がりました。  
皆さんの明るい笑顔が、何



### 夢大使 リレー通信 14

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、歌手のまきのめぐみさんです。

夢大使 まきのめぐみさん (東京都)

### この夏の思い出 新曲のPRとともに

よりもうれしかったです。地元に戻るたびに、励まされたいんですよ！と、皆さんに聞いていただくその言葉が、何より私の心のパワーとなりました。  
次に、8月15日(水)は南三陸町の成人式・なんと、まきのめぐみは講師として講演をさせていただきました。講演会の経験は、母校である志津川高等学校で行ったので、とても緊張しました。  
講演をするというのは、歌を歌う時の緊張感とはまた違っ

た感じなのです。成人の皆さんに『自信』についてお話ししました。ありのままの自分、あつべとつべな自分、自分の経験談の中から、少しでも地元の皆さんの力になればと思います、お話をさせていただきます。  
成人の方々は、本当に真剣に聞いてくださいました。講演会の後半は、まきのめぐみの歌を聞いていただきました。舞台から歌を歌いながら皆さんと握手をしたりして、ほんの少しですが、皆さんとコミュニケーションがとれて良かったです。  
自分の地元で講演ができた事を、大変光栄に思います。まきのめぐみの新曲『東京くあなたと過ごした青春』が、10月17日(水)に発売されます。全国にキャンペーンを行いますので、南三陸町夢大使として南三陸町のたくさんの方にアピールしてきますね。地元の皆さん、これからも『まきのめぐみ』を、よろしくお願いたします。

## 観光トークLIVE in 南三陸



9月15日(土)、「これでいいのか東北観光 ～観光新時代に向けて～」をテーマにしたシンポジウム「観光トークLIVE in 南三陸」が町総合体育館ベイサイドアリーナで開催されました。

これは、来年の全国大型観光キャンペーン(DC※)に向け、また、将来における南三陸町とその周辺地域の観光振興や課題について考える討論会で、(株)ジェイティービーの清水慎一常務取締役が進行役を務め、国土交通省の大野裕夫次長、南三陸町ブランド塾の志賀秀一塾長ら8人が意見を出し合いました。

出された意見には、「観光地の印象は、ごみが落ちているかなどの見た目や、交通機関や商店に携わる人の対応で良し悪しが決まる。」「おいしいお昼が食べられる観光地が好まれる。」「集客に行政の努力は必要だが、それに頼らない業者の努力が必要だ。」「観光客に県境という意識はない。また、広域観光を考えた隣接市町との役割分担の整備が必要だ。」「平泉が世界遺産指定になった場合を考え、当地域が宿泊地を担えるよう今から対策を。」など、多くの課題や観光振興のヒントが出されました。

また、約300人の来場者も進行役の質問に色別のカードを上げて答え、討論に参加しました。

### 討論者等は次のとおり

#### 討論者 (パネリスト)

- 国土交通省 海事局 大野裕夫 次長
  - 同省 都市・地域整備局街路課 神田昌幸 企画専門官
  - 経済産業省 資源エネルギー庁資源燃料部政策課 井上宏司 課長
  - 財地域総合整備財団開発部 今泉道雄 部長
  - 気仙沼地方振興事務所 河端章好 所長
  - (株)東北地域環境研究室代表、南三陸町ブランド塾 志賀秀一 塾長
  - 南三陸町 佐藤 仁 町長
  - 南三陸町 阿部憲子 女将
  - 南三陸町 佐藤 仁 町長
- 進行役 (コーディネーター)  
(株)ジェイティービー 清水慎一 常務取締役

※DCは仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの通称で、詳しくは2ページをご覧ください。

## みやぎものづくり大賞で グランプリ



グランプリを獲得した「帆ッ伊達な炙り」と、製作者の山内正文社長

地域活性化や企業活動支援のため県などが主催する「第11回みやぎものづくり大賞」の加工食品部門で、(株)五日町の(株)ヤマウチ山内鮮魚店のホタテ加工食品「帆ッ伊達な炙り」がグランプリに選ばれました。  
この食品は、地元産の大粒ホタテのむき身に塩と地酒で軽く味付けし、あぶり焼きしたもので、1箱6個入りで販売されています。素材のうま味を生かす加工技術と、しっかりととした食感、さらにネーミングから「宮城」をイメージさせる点などが評価されました。  
表彰式と受賞作品の展示は、他の部門とともに、10月2日(火)に仙台市宮城野区の夢メッセみやぎで開かれる「ビジネスマッチ東北2007・いいものテクノフェア2007」で行われ、県が地元産の加工食品として、販売促進の全面的なサポートを行うこととなっています。